

「いわて特別支援教育推進プラン（2024～2028）」推進状況について

令和6年3月に策定した「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、「つなぐ」、「いかす」、「支える」の三つのキーワードごとの施策の方向性と具体的施策により「共に学び、共に育つ教育」の推進を図り、すべての人が互いを尊重し、心豊かに主体的に生活することのできる共生社会の実現を目指す。

令和6年度における推進状況 ★新規・重点施策 ○継続施策

つなぐ ～就学前から卒業後までの一貫した支援の充実～

○「教育支援のためのガイドライン」の改訂と早期からの教育相談・支援

☑「市町村教育支援担当者研修会」の実施【済】

令和6年5月17日（金）総合教育センターを会場に実施した。また、県内各市町村教育委員会に教育支援の進め方に関する助言や資料送付、及び指導主事会議等での説明を行っている。

☑教育支援に係るリーフレット等の作成・活用による、就学に関する保護者への事前の情報提供・教育支援【取組中】

各市町村等において就学に関するリーフレット等の作成・活用が進められてきている。福祉に関する情報を盛り込んだり、ホームページで広く周知したりするなど、各市町村の実情を踏まえた充実した取組となってきている。

★引継ぎシート等による継続した支援

☑引継ぎシートの取組【取組中】

学校間や学校と医療・福祉等の機関をつなぐ「引継ぎシート」及び「引継ぎシート作成・活用ガイドブック」を、令和2年4月6日に関係機関等に送付し、活用について周知を図った。併せて、引継ぎシートの作成や活用について、指導主事会議や各種研修会で繰り返し周知を図っている。「引継ぎシート」を活用した小学校から中学校への引継ぎ、中学校から高等学校への引継ぎは、令和3年度中学校・高等学校入学生から行っている。学校から医療・福祉機関等への引継ぎは、必要が生じた際に速やかに活用するものとしており、引き続き周知を図っていく。

★各特別支援学校における地域企業との連携

☑企業との連携協議会の実施【取組中】

特別支援学校や障がいのある生徒への理解促進と実習・雇用機会の拡充を図るため、県内9地区で地域の特別支援学校と企業との連携協議会を設立し、年2回程度開催し、授業参観等や障がいのある方を雇用している企業からの事例報告、意見交換、企業と生徒の相談会等を行っている。

事務局担当特別支援学校11校と協議会員参加企業が9地区で、125社・事業所等となった。

地区名	担当学校名	参加企業・事業所数
盛岡	盛岡峰南高等支援、盛岡みたけ支援、盛岡ひがし支援	21
花巻・北上・遠野	花巻清風支援	14
奥州	前沢明峰支援	12

一関	一関清明支援	12
大船渡・陸前高田	気仙光陵支援	20
釜石	釜石祥雲支援	12
宮古	宮古恵風支援	9
久慈	久慈拓陽支援	9
二戸	盛岡みたけ支援二戸分教室	16

※令和7年1月末現在

☑いわて特別支援学校サポーター制度登録企業の周知・表彰【取組中】

特別支援学校高等部に在籍する生徒の就業体験等の受入れ支援（2～3日間実施する就業体験、1週間から1カ月間程度実施する産業現場等実習）を行っている企業（令和7年1月現在 138 企業等）を県民に広く周知し、5年間継続して支援をいただいている企業に対し感謝状を贈呈した。（令和6年度は大船渡地区の企業5社に贈呈）

★地域の特色を生かした特別支援学校技能認定会の実施・啓発と教育活動の充実

☑地域の特色を生かした特別支援学校技能認定会の実施を踏まえた、教育活動の改善【取組中】

特別支援学校高等部生徒の働くために必要な技能や態度、意欲などの向上を図るとともに、企業や関係機関の生徒理解や実習及び雇用機会の拡大を図ることを目的に、企業等の協力を得ながら、平成29年度から県立特別支援学校高等部生徒を対象として実施している。令和3年度からは、県内4会場での開催とし、より地域に根差した事業となるように進めている。

〔二戸・盛岡会場〕令和6年11月13日（水） 盛岡タカヤアリーナ

- ・技能認定種目 物品管理、清掃
- ・参加者 二戸・盛岡地区特別支援学校高等部生徒 60名
- ・協力企業等 21企業等 ※審査員として協力

〔中部・県南会場〕令和6年11月15日（金） 県南青少年の家

- ・技能認定種目 事務補助、清掃
- ・参加者 花巻清風・前沢明峰・一関清明支援学校高等部生徒 26名
- ・協力企業等 10企業等 ※審査員として協力

〔沿岸北部会場〕令和6年7月17日（水） 久慈拓陽支援学校

- ・技能認定種目 物品運搬、商品管理
- ・参加者 宮古恵風・久慈拓陽支援学校高等部生徒 23名
- ・協力企業等 14企業等 ※審査員として協力

〔沿岸南部会場〕令和6年11月20日（水） 釜石祥雲支援学校

- ・技能認定種目 清掃
- ・参加者 気仙光陵・釜石祥雲支援学校高等部生徒 8名
- ・協力企業等 6企業等 ※審査員として協力

つなぐ ～就学前から卒業後までの一貫した支援の充実～

【成果】

- ・市町村教育支援担当者研修会により、年度の早い時期に教育支援に係る考え方や手続きについて共通理解を図り、各担当者同士で情報交換をすることができた。
- ・市町村で作成している支援ファイルに引継ぎシートの様式を組入れるなど、市町村全体で活用する事例が見られており、関係機関の理解と協力のもと引継ぎシートの活用が徐々に進んできている。
- ・企業との連携協議会やサポーター登録制度について企業への周知を進めたことで参加・登録する企業が増えている。また、技能認定会は、地域の実情に応じ、地元企業と連携した取組となってきた。

【課題】

- ・各市町村において教育支援リーフレット等を活用しながら、それぞれの学びの場における学習の様子を含めた就学に係る情報について保護者への一層の周知を図り、早期からの継続した教育支援に取り組むこと。
- ・引継ぎシートの作成・活用について、引き続き保護者や各学校への周知や理解を図り、児童生徒の特性や取組まれてきた指導内容・支援方法等を確実に進学先や関係機関に伝えることができるようにすること。
- ・特別な支援を要する生徒への理解を促進し、雇用機会の拡大につながるよう、引き続き、特別支援学校と企業との連携協議会や特別支援学校技能認定会について周知を進めること。

いかす ～各校種における指導・支援の充実～

○継続型訪問支援・随時相談支援を活用した指導・支援

☑継続型訪問支援・随時相談支援の実施【取組中】

通常の学級、特別支援学級、幼稚園（保育所、認定こども園含む）80校園を対象に、年間3回程度の継続型訪問支援を実施している。

そのほか、特別支援学校による地域支援の一環として、すべての校園を対象に随時相談支援を実施する。

★地域における特別支援教育コーディネーター連絡会を活用した指導・支援

☑特別支援教育コーディネーター連絡会による研修等の実施【取組中】

県内6地区において特別支援学校と小中学校等の特別支援教育コーディネーターを対象とした研修会を実施する。

〔盛岡北地区〕令和6年8月2日（金）滝沢市ふるさと交流館 参加者22名

講演「発達障がいのある子どもの特性に基づいた学級経営とユニバーサルデザインの授業づくり」

岩手大学教育学部特別支援教育学科 准教授 鈴木 恵太 氏

〔盛岡中央地区〕令和6年4月25日（木）都南公民館 参加者78名

説明「特別支援教育の推進について」

盛岡市教育委員会学校教育課 指導主事から説明

〔盛岡南地区〕令和6年8月7日（水）盛岡聴覚支援学校 参加者17名

講義「新『いわて特別支援教育推進プラン(2024～2028)の推進と小・中学校等の特別支援教育コーディネーターの役割」

岩手県教育委員会学校教育室 指導主事から説明

〔中部・県南地区〕令和6年8月8日（木）3会場によるサテライト開催

一関清明支援学校 参加者24名

前沢明峰支援学校 参加者21名

花巻清風支援学校 参加者36名

合計87名

講義「学習に特異的な困難さを示す子どもの理解と支援」

岩手大学教育学部特別支援教育学科 准教授 鈴木 恵太 氏

〔沿岸3地区〕令和6年6月10日（月）大槌町文化交流センター おしゃっち 参加者30名

講義「通常の学級における学習支援について」

岩手大学教育学部特別支援教育学科 准教授 鈴木 恵太 氏

〔県北地区〕令和6年5月8日（水）久慈地区合同庁舎 参加者 50名

講義「特別支援教育コーディネーターの役割について」

岩手県教育委員会学校教育室 主任指導主事から説明

グループ協議「特別支援教育コーディネーターの役割について」

☑特別支援教育中核コーディネーターの養成・委嘱、活用事例の周知【済】

☑特別支援教育中核コーディネーター業務推進連絡会の実施【済】

地域における特別支援教育の推進的役割を担う小中学校等の教員が、各教育事務所長から特別支援教育中核コーディネーターの委嘱を受け、特別支援学校の特別支援教育コーディネーターと連携を図りながら各校の支援に携わる（令和7年1月現在 33名）。

特別支援教育中核コーディネーターの専門性向上を図るため、本県との事業連携協定を締結している塩野義製薬株式会社との共催により研修会を開催する。

特別支援教育中核コーディネーターが、互いに各地区における業務推進状況を共有し、連携を深めるため、業務推進連絡会を実施する。

〔特別支援教育中核コーディネーター研修会〕

令和6年12月18日（水）～令和7年1月20日（月）オンデマンド研修 受講者 30名

1 講義・演習「WISC-IV結果の解釈と支援」

NPO法人 ADDS 共同代表 心理学博士 熊 仁美 氏

2 講義・演習「不適応行動の見取りと支援」

帝京大学文学部心理学科 教授 黒田 美保 氏

〔特別支援教育中核コーディネーター業務推進連絡会〕

令和6年11月26日（火）オンライン開催 参加者 21名

○特別支援教育エリアコーディネーターの配置・運用

☑特別支援教育エリアコーディネーターの配置・運用【取組中】

各教育事務所内の特別支援学校1校、合計6名を配置し、地域の特別支援教育の推進に向けて、教育事務所や市町村教育委員会業務への支援、関係機関等との連絡・調整に関する支援を行う。

・対応延べ件数：573件（内訳 支援・教育相談関係：286件 研修関係：287件）

※令和6年12月現在

★特別支援教育エリアコーディネーターの支援体制整備

☑各学校からの教科学習を含めた随時指導体制の構築のため、令和7年度に盛岡教育事務所管内の特別支援教育エリアコーディネーター所属校を盛岡みたけ支援学校から盛岡青松支援学校に変更予定。

【取組中】

○各校種や地域の実情・ニーズに応じた研修

☑特別支援教育支援員スキルアップ研修会【済】

〔期日及び会場〕 令和6年8月1日（木） ふれあいランド岩手 参加者 91名

☑高等学校特別支援教育コーディネーター研修【済】

〔期日及び会場〕 令和6年6月28日（金） 総合教育センター 参加者 76名

★高等学校における指導・支援の研究

- ☑高等学校に在籍する特別な支援を必要とする生徒への支援の充実に向けたリーフレットの作成（校内支援体制充実）【取組中】

○特別支援学級・通級による指導担当教員を対象とした継続的な研修

- ☑継続型ステップアップ研修の実施【取組中】

特別支援教育新任担当、2年目担当、3年目担当（令和2年度から）を対象とした継続型の研修を実施し、修了者74名に特別支援教育担当A級を認定した。そのほか、申請者A級6名、S級1名をそれぞれ認定した。

<p>【1年目】特別研修（新任研修）「担任・担当としての基礎力形成」 ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（前期）・・・教育事務所実施 イ 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅰ（後期）・・・総合教育センター実施 ウ その他 希望研修として、特別支援教育新任担当教員研修講座（スタート研）を年度当初に実施</p> <p>【2年目】特別研修（教職専門等研修）「担任・担当としての実践力向上」 ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅱ・・・総合教育センター、特別支援学校実施</p> <p>【3年目】特別研修（教職専門等研修）「学校組織による特別支援教育の推進」 ア 特別支援教育担当ステップアップ研修講座Ⅲ・・・総合教育センター実施</p>
--

○すべての校種における交流及び共同学習

- ☑「交流籍」を活用した交流及び共同学習の円滑な実施【取組中】

特別支援学校の小・中学部に在籍する児童生徒が、居住する地域との関わりを充実させるために、居住する地域の小・中学校に副次的な籍である「交流籍」を位置付け、居住地校との交流及び共同学習を推進している。

小・中学部を設置しているすべての県立特別支援学校から、年度当初314名の申請があり（令和5年度は331名が実施）、各校や児童生徒の実情に即した取組を進めている。

- ☑各年齢段階での交流及び共同学習の実施【取組中】

幼稚園段階においては、特別支援学校幼稚部に通学する幼児と近隣幼稚園等や居住地の幼稚園等との交流及び共同学習を実施している。高等学校段階においては、特別支援学校と近隣高等学校との交流及び共同学習を実施するとともに、スポーツ・文化芸術活動を通じた交流及び共同学習についても取組を広げていく。

<p>いかす ～各校種における指導・支援の充実～</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none">・特別支援学校のセンター的機能を活用した相談・支援が地域の特別支援教育の推進につながっている。・特別支援教育コーディネーター連絡会は、各地域のニーズや学校の現状に応じたテーマで情報交換や研修会を実施したことで、異なる学校種の学校同士、学校と行政の担当者の連携を図ることができた。・交流及び共同学習により、居住する地域の児童生徒同士のつながりが広がるとともに教育的意義の理解も図られてきている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・多様な相談等に対応するため、各校種の特別支援教育コーディネーターの一層の連携強化や階層的な相談支援体制の整備を進めていくこと。・行動面の課題等に対応する体制の一層の整備や通常の学級における一斉指導、個別支援の充実に向けた改善策を講じること。・中学校による特別支援教育に係る進路指導の充実に向けた取組を実施すること。
--

支える ～教育環境の整備・充実・県民理解の促進～

○特別支援学級・通級指導教室の総合的観点による整備

☑特別支援学級・通級指導教室の整備推進【済】

特別支援学級の状況（令和6年5月1日現在）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校前期課程				計			
	児童数	前年度比	学級数	前年度比	生徒数	前年度比	学級数	前年度比	児童生徒数	前年度比	学級数	前年度比
弱視	11	1	9	-1	2	0	2	0	13	1	11	-1
難聴	34	2	27	3	19	5	14	2	53	7	41	5
知的障がい	1,142	94	289	20	547	33	146	8	1,689	127	435	28
肢体不自由	31	1	27	3	16	0	13	1	47	1	40	4
病弱・身体虚弱	50	8	40	8	25	-2	20	1	75	6	60	9
自閉症・情緒障がい	1080	85	273	6	569	52	144	3	1,649	137	417	9
計	2,348	191	665	39	1,178	88	339	15	3,526	279	1004	54

通級指導教室の状況（令和6年5月1日現在）

障がい種別	小学校・義務教育学校前期課程				中学校・義務教育学校前期課程				計			
	児童数	前年度比	教室数	前年度比	生徒数	前年度比	教室数	前年度比	児童生徒数	前年度比	教室数	前年度比
難聴・言語障がい	1,279	56	87	0	0	0	0	0	1,279	56	87	0
LD等	167	-12	16	0	87	0	12	0	254	-12	28	0
計	1,446	44	103	0	87	0	12	0	1,533	44	115	0

○特別支援教育支援員等の総合的観点による配置

☑特別支援教育支援員等の配置【済】

県立高等学校 32 校に 34 名の特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする生徒への学習や生活上の支援にあたっている。

○専門家の活用

☑スクールソーシャルワーカー等による福祉機関等とのネットワーク活用【取組中】

各教育事務所にスクールソーシャルワーカー18名を配置し、問題行動等の未然防止・早期発見及び関係機関等との連絡・調整等を行っている。

県立学校については、岩手県社会福祉士会に業務を委託し、各学校の依頼による出張相談・電話相談を行っている。

☑スクールカウンセラーによる心のケア【取組中】

各学校にスクールカウンセラーを派遣し、心理的な不安等を抱える児童生徒及び教職員、保護者等への支援の充実を図っている。

☑特別支援学校等における理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視機能訓練士等の活用【取組中】

各校の教育課程等を踏まえた要望により、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・視能訓練士を派遣し、教育活動の充実につなげている。

〔配置人数〕

理学療法士8名、作業療法士9名、言語聴覚士8名、視機能訓練士1人

★特別支援学校の整備推進

☑特別支援学校整備計画（令和3年度～令和10年度）の推進【取組中】

令和3年5月に策定した特別支援学校整備計画に基づき、特別支援学校の教育環境の整備について推進している。

- ・ 県北地区特別支援学校の新設の取組

令和8年4月の開校に向けて令和6年度に着工しており、引き続き準備を進めていく。

- ・ 特別支援学校の状況（令和6年5月1日現在）

学校名		幼稚部		小学部		中学部		高等部		専攻科		合計	
		幼児	学級	児童	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級
県立	盛岡視覚支援	1	1	4	2	5	4	3	2	10	5	23	14
	盛岡聴覚支援	2	1	4	2	6	2	19	7	2	1	33	13
	盛岡となん支援			56	20	36	14	36	15			128	49
	盛岡青松支援			7	3	8	4	16	7			31	14
	盛岡峰南高等支援							84	12			84	12
	盛岡みたけ支援			75	19	59	12	72	14			206	45
	同奥中山校			8	4	9	3					17	7
	盛岡ひがし支援			73	20	35	10	48	12			156	42
	花巻清風支援			63	21	45	13	57	14			165	48
	前沢明峰支援			40	12	35	11	58	13			133	36
	一関清明支援			49	18	43	14	55	16			147	48
	気仙光陵支援			15	6	11	4	20	4			46	14
	釜石祥雲支援			20	8	13	7	20	7			53	22
	宮古恵風支援			15	6	10	5	39	8			64	19
	久慈拓陽支援			24	8	14	4	30	5			68	17
小計		3	2	453	149	329	107	557	136	12	6	1354	400
国立	岩大附属			15	3	19	3	19	3			53	9
私立	三愛学舎							42	3	24	2	66	5
小計				15	3	19	3	61	6	24	2	119	14
合計		3	2	468	152	348	110	618	142	36	8	1473	414
増減(前年度比較)		-1	0	-14	-5	3	5	-30	1	10	1	-32	2

★地域に根差す特別支援学校分教室の運用

☑特別支援学校分教室連携推進連絡会の実施【済】

〔期日及び会場〕 令和6年11月18日（月）

岩手県立盛岡みたけ支援学校高等部（岩手県立北桜高等学校工業校舎内）

〔集合参加者〕 二戸分教室設置小・中・高等学校長、特別支援学校分教室副校長、分教室主任

〔オンライン参加者〕 分教室設置小・中学校長

★医療的ケア児に係る看護職員の配置

☑特別支援学校における看護職員の配置【済】

9校 56名の医療的ケアが必要な児童生徒を対象に、看護職員 54名を任用して対応している。

(12月現在)

★県民向け公開講座

☑県民向け公開講座や広報活動の実施【済】※両日ともオンラインで開催

- ・子ども未来支援セミナー

〔1回目〕 令和6年9月28日(土) 参加者 48名

講演「子どもの発達が気になったら」

一般社団法人 Yukuri-te 代表理事 湯浅 正太 氏

〔2回目〕 令和6年10月12日(土) 参加者 54名

講演「発達障がいと共に生きて、育てて、支援して～20年以上の経験を振り返り当事者・

保護者・支援者からの発信」

当事者、保護者、社会福祉士、精神保健福祉士 笹森 理恵 氏

- ・いわてこども発達支援サポートブック

各種研修会や会議等における紹介、ポスターの掲示等

★特別支援教育サポーター養成

☑特別支援教育サポーター養成講座の開催・周知【取組中】

今年度は、盛岡青松支援学校、前沢明峰支援学校、盛岡みたけ支援学校奥中山校の3校において、特別支援教育サポーター養成講座(全8回)を開催し、特別支援教育に関する県民の理解及び地域とともにある学校づくりにつなげた。

〔盛岡青松支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	96名	17名	15名

〔前沢明峰支援学校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	66名	14名	10名

〔盛岡みたけ支援学校奥中山校〕

開催回数	参加延べ人数	修了生数	ボランティア登録者
8回	59名	8名	7名

○スポーツ活動、文化芸術活動を通じた生きがいづくり、地域とのつながりづくり

☑令和6年度「第44回岩手県特別支援学校作品展」の周知【済】

令和6年11月29日(金)～12月1日(日) 盛岡地域交流センター「マリオス」

関係機関への案内文書のほか、広報誌等を通じて広く周知した。

☑各団体等と連携した事業の実施【取組中】

県文化スポーツ部、県教育委員会事務局において各種事業を実施し、幅広い分野のスポーツ活動、文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げた。

文化振興課

- ・いわてアール・ブリュット巡回展 2024
〔花巻会場〕 令和6年12月2日（月）～12月18日（水）
花巻市文化会館 展示ホール
〔盛岡会場〕 令和7年1月13日（月・祝）～1月27日（月）
イオンモール盛岡 イオンホール
- ・いわてアール・ブリュットミライ発信イベント（民間企業によるトークイベント）
令和7年1月13日（月・祝）
イオンモール盛岡 イーハトーブ広場
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会～しる・つながる・ひろげる～
令和6年8月5日（月）矢巾町活動交流センターやはぱーく
講師 prop 代表 那須 賢輔 氏
Good Job!センター香芝 企画営業ディレクター 安部 剛 氏
- ・創作活動に関する権利保護研修会
令和6年9月5日（木）紫波町情報交流館
講師 石川法律事務所 弁護士 松岡 佑哉 氏
一般社団法人たんぽぽの家 後安 美紀 氏、大井 卓也 氏
- ・イーハトーヴとっておきの音楽祭りもりおか
令和6年9月29日（日）おでって広場ほか4会場
主催 とっておきの音楽祭りイーハトーヴ実行委員会
後援 岩手県、岩手県社会福祉事業団
出演 ニュートンの猫、ふれあいコール、いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊ほか
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会 「教えて！板垣さん！」
令和7年2月21日（金）紫波町情報交流館
講師 しゃかいのくすり研究所 代表
るんびにい美術館 アートディレクター 板垣 崇志 氏
- ・障がいのある人の創作・表現活動支援に関する研修会～施設・事業所等管理者編～
「やってみっぺ！障がいのある人のアート支援」
令和7年2月21日（金）紫波町情報交流館
講師 しゃかいのくすり研究所 代表
るんびにい美術館 アートディレクター 板垣 崇志 氏
甲南大学文学部人間科学科 教授 服部 正 氏
- ・第32回岩手県障がい者文化芸術祭
〔応募作品展〕 令和6年11月14日（木）～12月1日（日）ふれあいランド岩手
〔記念式典（応募作品展表彰式）〕 令和6年11月24日（日）ふれあいランド岩手
〔ふれあい音楽祭2024〕 令和6年11月30日（土）ふれあいランド岩手
- ・外部有識者による協力委員 年間1回開催

スポーツ振興課

・スポーツ教室

教室名	実施回数
ボッチャ教室	2
グラウンドゴルフ教室	3
ヨガ教室	1
ゲートボール教室	2
卓球バレー教室	2
スキー交流会	1
STI 教室	2
ウォーキング	2

・パラスポーツ指導員養成

パラスポーツ指導員養成講習会（初級パラ者スポーツ指導員養成講習会 2回、中級パラスポーツ指導員養成講習会 1回、フォローアップ研修会 1回）を開催

・インクルーシブスポーツ推進事業

障がいのある人もない人も共に楽しめる共生社会型スポーツの充実を図るため、地域推進体制の構築、指導員養成、体験教室・練習会、交流大会開催を県内各地で実施

〔県央会場（盛岡市）〕	ボッチャ交流大会	令和6年11月3日（日）
〔県央会場（盛岡市）〕	卓球バレー交流大会	令和6年10月20日（日）
〔沿岸会場（大船渡市）〕	ボッチャ交流大会	令和6年12月1日（日）
〔沿岸会場（大船渡市）〕	卓球バレー交流大会	令和6年12月1日（日）
〔県北会場（久慈市）〕	ボッチャ交流大会	令和7年2月実施予定
〔県北会場（久慈市）〕	卓球バレー交流大会	令和6年8月25日（日）
〔県南会場（花巻市予定）〕	ボッチャ交流大会	令和7年2月実施予定
〔県南会場（金ヶ崎市）〕	卓球バレー交流大会	令和7年1月19日（日）

・岩手県障がい者スポーツ大会

月日	種目	会場
令和6年5月12日（日）	ボッチャ	ふれあいランド岩手
令和6年6月1日（土）	陸上	岩手県営運動公園
	フライングディスク	
	卓球	ふれあいランド岩手
	アーチェリー	
	水泳	
ボウリング	盛岡スターレーン	

・パラリンピック選手等育成・強化事業

本県ゆかりのパラアスリートを強化指定選手として指定し、国際大会、全国大会出場等の競技活動に要する経費の一部を補助

・いわてパラアスリート発掘・育成事業

将来性のある人材の発掘やアスリートとして活動するための専門的な知識・トレーニング方法等の研修を実施（令和6年度：年間2回の全体研修、3団体による4競技の競技別研修）

生涯学習文化財課

・新任生涯学習関係職員研修講座

令和6年5月9日（木）オンライン

講義 「障がい者の生涯学習の推進について」

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課 社会教育主事

令和6年5月10日（金）生涯学習推進センター

選択研修 「ボッチャなどを通して学ぶ障がい者スポーツ」

一般社団法人 岩手県障がい者スポーツ協会 事務局長 三浦 拓朗 氏

・人・つながり・地域づくり関係職員等研修講座（中央会場）合理的配慮、あなたのまちは大丈夫？～改正障害者差別解消法が施行されました～

令和6年7月17日（水）生涯学習推進センター

講義 「改正障害者差別解消法、合理的配慮について」

弁護士法人 岩手銀河法律事務所 盛岡事務所 弁護士 須山 通治 氏

講義・参加者情報交流

「知ってますか？『障がいのある人もない人も共に学び共に生きる岩手県づくり条例』

岩手県障がい者110番相談室 専門相談員 長葎 千恵子 氏

・人・つながり・地域づくり関係職員等研修講座（宮古会場）

～障がいのある方の学校卒業後の豊かな学びにつなげるための支援とは～

令和6年7月25日（木）宮古市地域創生センター<うみマチひろば>

事例発表 「より主体的に、より輝くために①」～就労支援の現場から～

特定非営利活動法人ハックの家 副理事長 竹下 敦子 氏

事例発表 「より主体的に、より輝くために②」～相談支援の現場から～

特定非営利活動法人宮古圏域障がい者福祉推進ネット

事務局次長兼主任相談支援専門員 佐々木 大介 氏

支える ～教育環境の整備・充実・県民理解の促進～

【成果】

・多様なニーズに応じた教育諸条件に係り、特別支援学級や通級指導教室の設置、高等学校における特別支援教育支援員の配置、通級指導教室の設置、医療的ケア看護職員の配置、外部専門家を活用した教育活動の充実を図ることができた。

・県民向け公開講座や特別支援教育サポーター養成講座の取組により、共生社会の形成に向けた県民の理解・啓発が着実に進められてきている。

【課題】

・特別支援学校再編整備計画に基づき、整備の着実な実行を進めていくこと。

・公開講座や特別支援教育サポーター養成について、引き続き周知を図ることで、共生社会形成に向けての県民の理解をより一層促進すること。

・関係機関との連携しながら、スポーツ・文化芸術活動の充実による生涯学習の推進に取組むこと。